

風立ちぬ

第24号 令和5年2月28日(火)発行

文責 佐藤正人

= 「学級だより」で考える =

1-A 2月10日発行 池田達弥先生のお便りから。



学生といえ

社会で生活していれば行動に責任が伴います。交通ルールを守る、お店の物を購入するときはお金を払う、人を傷つけないなど、皆が安全に、かつ平和に暮らしていくためにルールがあります。学校ですべてのルールについて触れることはなくても、知らず知らずのうちに身につけていることでしょう。

曖昧なのがマナーです。ルールは破ると罰を受けますが、マナーはそこまで求められません。それでも社会には多くのマナーがあります。出来心で、いたずらの気持ちで、人に不快感を与えるような行為は、時には学生といえど責任をとらなくてはいけなくなる可能性があることは昨今のニュースを見て感じた人もいのではないでしょうか。学校では多少許されるようなことでも、社会で同じことをしたらそうはいかないこと、たくさんあります。SNSの扱い方、飲食店を含むお店で過ごすマナー、言葉遣いなど、自分の行動が見る人にとって不快感を与えていないか、今一度考えてみてほしいと思います。

「調子に乗っちゃって」などと言いつける人もいますが、物事には「やって良いこと」と「いけないこと」があります。その「分別する力」を学校生活、地域生活で人と接することを通して学んでいくのです。間違いを指摘してくれる人が「真の友」だと私は思っています。

3-A 2月24日発行 須藤春菜先生のお便りから。

3月は「そわそわ」する時期



3月はなんだか「そわそわ」しませんか。卒業が迫ってくると、言葉では言い表せない不思議な気持ちになって、心が「そわそわ」する人がいるかもしれません。

【そわそわ】には、「不安に思う」「喜びで落ち着かない」「期待で落ち着かない」など、マイナスのみならずプラスの意味でも使われることがあります。私は、3月のあたたかい太陽

の日差しを感じると、新学期からの新しい環境を想像して「そわそわ」します。みなさんはどうでしょうか。4月からの新しい生活に向けて「そわそわ」している自分の心を見つめて、ゆっくりしたり準備したりする時間をつくってみましょう。



皆さんには四季を感じる「香り」はありますか？私にとっての「春の香り」は、田んぼの水が太陽に照らされ蒸発するときの土の匂いです。冬は「雪」の香り、夏は「潮」の香り、秋は「たき火」の香りかなあ〜。3月の希望と不安が入り交じった「そわそわ感」も理解出来ます。残り1ヶ月が充実した生活でありますように。

『利他の心』 = 『情けは人のためならず』

学校だより13号(令和4年9月2日発行)で『利他の心』という稲盛和夫さんの言葉を紹介しました。

私たちの心には「自分だけがよければいい」と考える利己の心と、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」とする利他の心があります。利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。一方、利他の心で判断すると「人によかれ」という心ですから、まわりの人みんなが協力してくれます。また視野も広がるので、正しい判断ができるのです。より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」に立って判断をすべきです。

今年度もたくさんの立中生が、各地域で募集していたボランティア活動に参加しました。町の広報や、ポスターを見て自分から参加の申込みをしてくれた立中生も増えました。

(鈴木重良さんの活動を毎日目にしていた → 稲盛氏の言葉で納得した・共感した → 行動に移した)

活動した立中生にインタビューすると「自分の為の時間は減ってしまったけれど、誰かの為になっていることや、同じ思いを持った人と一緒に活動できた充実感や満足感がなんとも言えず心地よかった。結局自分の為になったと思う。」と語ってくれました。

「2月24日(金)発行2年A組の学級通信」に、担任の熊谷章先生が、以下のようなことを生徒に向けて発信してくれました。

一人で頑張ることだけが、立派だとは限らない

日本の親は
人に迷惑かけてはいけ
ない
って教えるけど
インドの親は
「お前は人に迷惑か
けて
生きているのだから、
人のことも許してあげな
さい」
って教えるらしい。

左の言葉はちょっと前に私がネット上で見つけたものです。すごく共感したので紹介します。いくら頑張っても、気をつけても、誰にも迷惑をかけない人なんていない。だから、自分が誰に迷惑をかけても助けてもらえるように、誰かに迷惑をかけられたとしても、許して助けてあげましょうということですね。「リーダー」になる人は、見本にならなくてははいけない、迷惑をかけてはいけない…と強い責任感から、自分を追い込んでしまいがちです。ルフィのように、自分のできることはする。でも、苦手なことは助けて欲しいと宣言する。その代わりに、仲間が困っていたら、絶対に助ける。そんな生き方もあるのではないのでしょうか。そんな人の周りには、自然と補い合える仲間が集まってきます。「居心地が良い! チームを作っていきましょう。」



私は、「おかげさま」と「おたがいさま」という言葉が大好きで、誰かにしてもらった恩を、別の誰かに返していくことにしています。「生き方」「在り方」と言われますが、どのように自分を生かすかは、個人の選択に委ねられます。自分は自分の行動によって成長していきます。どんな活動が自分にとって有効か、選択しながら自分を磨いていきましょう。